

ミズみずエコステーション体験農園

五月十四日(土)に極楽寺のNPO法人いびがわミズみずエコステーション体験農園において、揖斐郡内の小学生以下の親子二十人が参加し、九百本のとうもろこしの種蒔きをしました。

この農園の土は、各家庭から出た生ゴミで作った土壌改良剤土の素を活用しています。

堆肥化ステーションでは毎週火・木・土曜日の十五時から十七時まで生ゴミの受付を行っています。

詳細はNPO法人いびがわミズみずエコステーション事務局(22-1732)へお問合せください。



生ゴミから作った肥料でとうもろこしを

自然環境を見直して いびがわ環境フェスティバル開催

五月二十二日(日)、中央公民館において、いびがわ環境フェスティバルが開催されました。

NPO法人いびがわミズみずエコステーションなどの十五団体がパネル展示を行い、自然環境保全の見直しを呼びかけました。

出展ブースでは、牛乳パックをリサイクルしたハガキの作成や、リサイクル製品の展示、フリーマーケットが行われ、家族連れでにぎわいました。

イベントを通じて身近な環境問題について見直すよい機会となりました。



牛乳パックをリサイクルしてハガキ作り

稚鮎の放流

五月十七日(火)に岡島橋下流の揖斐川において、揖斐小学校の四年生と揖斐川中部漁業協同組合により、稚鮎の放流が行われました。

はじめに、水資源機構の職員から、川や川に棲む魚について説明を受けました。きれいな川を守っていくことの大切さを学びました。

そのあと、子供たちは体長十数センチの稚鮎を楽しそうに放流しました。揖斐川に元氣よく泳いでゆく鮎に「大きくなって帰ってきてね。」などと声をかけていました。



大きくなってね

久瀬小学校カワゲラウオッチング開催

五月二十五日(水)に久瀬小学校五年生十人で揖斐川のカワゲラウオッチングが行われました。この日、水温は十四度と冷たかったのですが、「カワゲラ」「ヘビトンボ」「ヒラタトビゲラ」「サワガニ」などいろいろな生き物を見つける事ができました。なかには、体長が七センチもある大きなカワゲラも見つかり「すごい」「大きい」という声があがりました。子どもたちからは、「大変汚い水の中にある生き物はいなくてよかった。」「川にゴミを捨てたりしないで、川をきれいにしていきたい。」という感想が聞かれました。



いろんな生物がいるきれいな川を守ろう